

日本国際漫画賞

【令和4年度予算額:9百万円】



- **沿革**
「今や世界各国に現れつつある若き漫画の旗手たちに、漫画の本家本元である日本から、権威のある賞、いわば漫画のノーベル賞のようなものをあげたい。」との思いから、2007年、麻生太郎外務大臣(当時)が創設。

- **概要**
 - 海外の漫画家の応募作品の中から、最優秀賞1作品、優秀賞3作品を表彰。
 - 受賞者を10日間程度招聘し、日本の漫画家との懇談や関連団体訪問の機会を提供。



- **期待する効果**
 - 世界の漫画家に対し、日本との絆を意識してもらい、漫画文化の担い手層の日本への好感度を維持する。



招聘事業
写真提供: (独)国際交流基金

- 日本文化の一翼を担う漫画を、海外で更に受け入れられやすくする。



第15回日本国際漫画賞授賞式

【参考】第1回から第15回までの応募作品の国・地域及び作品数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
国・地域数	26	46	55	39	30	38	53	46	46	55	60	68	66	61	76
作品数	146	368	303	189	145	245	256	316	259	296	326	331	345	383	483

国際交流基金事業(放送コンテンツ海外展開事業)

【令和4年度予算額: 措置なし】

事業概要

- ◆ 日本のコンテンツが放送されにくい国・地域を中心に、日本のドキュメンタリー、ドラマ、映画、アニメ、バラエティ等の無償提供を集中的に行い、海外の一般市民に向けて、地方を含む日本の魅力を発信することにより、対日理解促進や親日感醸成のほか、日本企業の進出に向けた基盤作り、インバウンド観光の促進を目指す。

対象国・地域

ロシア・中央アジア
ロシア、ウズベキスタン、
カザフスタン等

東欧
ブルガリア、ハンガリー、
チェコ、セルビア等

中東・アフリカ
エジプト、イラン、
ナイジェリア、ガーナ等

アジア
モンゴル、カンボジア、
インド、スリランカ等

大洋州
フィジー、マーシャル、
パプアニューギニア等

中米・カリブ
メキシコ、キューバ、
ジャマイカ、パナマ等

南米
ブラジル、アルゼンチン、
チリ、ペルー等

対日理解促進
親日感情醸成

現地進出日本
企業への裨益

将来的な商業的
海外展開への
地盤形成

留学生交流事業

【令和4年度予算額:70百万円の内数】

事業概要・目的

- 文科省が留学中の施策を実施し、外務省は、主に「入口」（来日前）と「出口」（帰国後）を担当。
- 本省経費
国費留学生の募集要項、選考試験問題、留学情報冊子等の在外公館への送付費用 等
- 在外経費
正確な留学情報の提供・広報活動
国費留学生の募集選考
留学アドバイザーを配置しての留学相談対応
国費留学生の渡日前オリエンテーション
「帰国留学生会」の組織化及び活動支援
帰国留学生を活用した対外発信事業 等

事業イメージ・具体例

- 日本への留学生数は約24万人（2021年5月現在）。こうした留学希望者に対し、現地在外公館がアドバイザー等も活用しつつ、正確な留学情報の提供、広報活動を実施。
- 在外公館が募集選考を実施する国費留学生応募者総数は年間約3万6千人。
- 帰国留学生会は世界に219組織。会員数約10万8千人（2022年在外公館調べ）。帰国留学生のうち、母国等の各界で指導的立場にある者のデータ約7千人（2018年在外公館調べ）分を把握。
- 在外公館は帰国留学生に対し、在外公館ニュースレター、我が国外交政策ファクトシート等の送付や帰国留学生を活用した日本文化紹介など対外発信事業を実施。

期待される効果

- 日本留学に関する正確かつ統合的な情報、日本の魅力を発信することにより適正な形での留学生受け入れ、留学生数の拡大に貢献する。
- 優秀な国費留学生を確保し、帰国留学生会等の組織化及び活動支援を行うことにより、我が国との架け橋となる知日家・親日家の人材育成となる。

対日理解促進交流プログラム

(Japan's Friendship Ties programs)

【令和4年度予算額: 1,689百万円の内数】

目的

- 諸外国・地域の優秀な青年を対象に、日本に対する関心と理解を向上させ、また、プログラム経験をいかした活動をしてもらうことで、親日派・知日派を発掘・育成し、外交基盤を拡充する。
- 参加者の専門性、関心分野に沿って、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に対する対日理解を促進し、参加者からの対外発信の強化を図る。

概要

【地域別名称（対象地域）】 JENESYS2022（アジア大洋州）
カケハシ・プロジェクト（北米）
MIRAI（欧州）
Juntos!!（中南米）

【事業】 (1) 招へい・派遣 (2) オンライン交流 (3) フォローアップ

【対象者】 招へい：高校生～社会人等、派遣：高校生～大学院生

【期間】 招へい・派遣：10日間程度（オンラインを含む）

【規模】 約16.9億円、約2,700人（令和4年度当初予算）

【実績】 平成27年度から開始。過去7年間の招へい・派遣に約32,000名が参加。

事業の実施形態

日本政府（事業方針に沿って推進）
（拠出金支出）

国際機関等（事業の実施団体を選定・委託）
（拠出金管理）

実施団体等
（プログラムの企画・実施）

外国報道関係者招へい

【令和4年度予算額：28百万円の内数】

1. 概要

- 外国報道関係者を個別又はグループで日本に招へいし、政治、経済、文化等の幅広い分野における最新の日本事情等に関する現地視察、インタビュー、政府関係者によるブリーフィング等の取材機会を提供。
- 訪日取材に基づき、外国メディアが日本の状況を正確に報道することによって、海外における正しい対日理解の増進、ひいては日本に対する好感度の向上を図る。

2. 接遇

- 期間
原則本邦着・発日を含めて最長8泊9日。
- 滞在プログラム
日本の政策広報上の重点課題や外交行事等を踏まえ、視察先・インタビュー先等に関する記者の具体的な要望を考慮して作成。外務省から記者に対し、適当な取材先の提案を行う場合もある。
- 経費
招へいにかかる航空費、本邦滞在費は外務省が負担。滞在プログラムには当省手配のエスコートが同行。

3. 近年の実績

- 令和元年度は28カ国から計42名の記者を招へいし、計159件の記事が掲載された(個別9名、グループ7件)。新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航を伴う招へいが困難になった令和2年度は、8カ国の計15名の記者にオンライン取材を調整し、計23件の記事が掲載された。令和3年度は渡航を伴う招へい1件(ア首連1名)の実施を含む、計274名(個別21件、グループ14件)に取材機会を設け、計163件の記事が掲載された(令和3年12月時点)。
- 海外市場取り込みのための招へい
 - ・ 質の高いインフラや日本産食品に関し、日本の高い技術・品質等をアピールするための招へいを実施。
- 日本文化・魅力発信のための招へい
 - ・ 東京オリンピック・パラリンピック、大阪・関西万博、和食や日本文化の魅力、ロボット等の先端技術等の発信のための招へいを実施。



LA MIRADA DEL CORRESPONSAL
POR FATIMA ROUZ
 Japón se prepara para convertirse en sede olímpica puliendo todos sus rastros, el de los rasca-cielos imposibles y la tecnología punta y el de los templos y tradiciones ancestrales.

Unos Juegos entre el futuro y la eternidad



El actor de teatro Kankuro Nakamura, en su compañía, en una de las actividades de promoción de la cultura japonesa.

TECHNOLOGY

A GIANT LEAP FOR JAPAN

The Marsian Moors exploration (MMX) mission is the world's first sample return mission from the Martian moons. The spacecraft will explore the two Marsian moons remotely while in orbit in the vicinity of Mars. Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) explores this phenomenon.

A HISTORY OF THE HISTORY OF MARS
 The Marsian Moors exploration (MMX) mission is the world's first sample return mission from the Martian moons. The spacecraft will explore the two Marsian moons remotely while in orbit in the vicinity of Mars. Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) explores this phenomenon.

ONBOARD INSTRUMENTS DEVELOPED BY JAXA AND
 The MMX spacecraft is equipped with a suite of seven instruments for remote sensing of Mars' surface and atmosphere. These include a camera to image the Martian surface at high resolution, a spectrometer to analyze the mineral composition of the Martian surface, a laser altimeter to measure the topography of the Martian surface, a thermal imager to measure the temperature of the Martian surface, a dust detector to measure the amount of dust in the Martian atmosphere, a laser Doppler velocimeter to measure the wind speed in the Martian atmosphere, and a laser Doppler velocimeter to measure the wind speed in the Martian atmosphere.

見出し:「未来と永遠のオリンピック」
 スペイン記者による東京オリパラ組織委員会及び中村勘九郎氏取材

見出し:「偉大なる日本の飛躍」
 ア首連記者によるJAXA取材

日本特集番組制作支援事業

【令和4年度予算額:5.6百万円の内数(TVチーム1件分)】

1. 概要

- 世論形成に影響のある諸外国のテレビ局取材チームを招へいし、日本事情について、有識者へのインタビュー、主要都市・施設の視察など、取材の機会を提供する。
- 諸外国において日本の対外政策、経済、社会などをテーマとした日本特集番組を制作・発信させることを目的に実施。
- 訪日取材に基づいて制作されたテレビ番組を通じて、幅広く、日本の状況を正確に伝えることにより、海外における正しい対日理解の増進、ひいては日本に対する好感度の向上が期待される。

2. 待遇

- 期間
本邦着・発日を含めて最大10泊11日。
- 滞在プログラム
日本の広報上の課題や外交行事等を踏まえ、外務省からテレビ局取材チームに対し、当該国での発信ニーズに応じた番組テーマの提案を行い、具体的な取材先・インタビュー相手等についてはテレビ局取材チームの関心も考慮に入れて作成。
- 経費
招へいに要する航空費、本邦滞在費は外務省が負担。滞在プログラムには当省手配の制作現場責任者・通訳が同行。

3. 近年の実績

- 平成30年度はメキシコからアステカTV、令和元年度はポーランドからTVNを招へい。令和2年度はトルコ国営放送によるオンライン取材(東日本大震災関連)を調整。

H30年度メキシコTV局 アステカTV 日墨外交関係樹立130周年の機会を捉え招へい

【和食、雲楽釜、漫画、ロボット等を発信】

日墨友好関連施設、産官学におけるメキシコとの協力関係、東日本大震災からの復興、東京オリパラ、クールジャパン、地方の魅力(島根・鳥取)等の取材・インタビューを行った。訪日取材に基づき、11日間に亘り日本特集番組が放映され(延べ放送時間115分)、うち4件がクールジャパン関連の特集。



令和元年度ポーランドTV局 TVN社 日ポーランド国交樹立100周年の機会を捉え招へい

【和食、農産物、先端技術等を発信】

同国と所縁のある愛媛県にて、100周年ドキュメンタリー番組を撮影。その合間に、伊方町のみかん農家やシロウオ踊り食いを取材・収録。豊洲市場、包丁職人等の映像も交えて日本食紹介番組「Japan on the Plate」(45分)を放映。100周年特集番組(60分)やその他の番組内でも、両国関係に加え、日本在住ポーランド女性棋士・アニメ技術者、愛情系ロボット等が紹介された(延べ放映時間225分)。



ポーランドの取材クルー
●国交樹立100周年を記念した番組制作
●今月12日から日本各地を取材

←「敦賀ムゼウム」でのポーランド孤児救出の取材・撮影の様子は、福井TVから逆取材を受けた。